ふるさと熊野

筆道資料の探訪

芸州筆のはじまり

熊野における製筆のおこりを文政期の広嶋藩の国益政策に求めるものがある。化政期には広島藩は新産業を奨励したが、そのうちの一つとして墨の国産化を図った。

天保元年（一八三〇）に「藩は沼田郡新庄村に墨製御場所を構え、奈良より製墨師、中川半次郎らを招き製造に従事させた。天保二年には熊野村の墨屋長兵衛が国産の新庄墨売捌取次の筆頭に選ばれ、同六年には長兵衛改め住屋貞右衛門が褒美として銀八十匁を藩から賜っていることからすると広島藩の国益政策と何らかの関係がある事が予想される。ここから「貞右衛門、庄屋千兵衛と相談の上、毛筆技術の習得生として摂津有馬に佐々木為次を派遣したものと考えられますという説が唱えられているのである。（広島藩と熊野筆が直接かかわった資料は未だありません）

筆職人長屋建設について

第三大区五小区

熊　野　村

一、当村之儀者農業之外何社浮儲得不仕至極貧村浮過之者共渡世難渋仕候ニ付上方ヨリ筆結職人雇入浮過璧亦者病身者婦女共へ職術教諭仕候処追々繁業仕多人数渡世有付於村内多分出来ノ筆諸国ニ持出シ専売弘メ近来芸州筆ト広名揚益繁昌仕一廉村為相成一統大慶至奉存候然ル処右職人共間遠所々ニ居住仕候而者仕草等持合無御座候時者互ニ融通致合度事間々御座候得共行来職手間費并商人共筆仕入ノ節者西風東風ト歩行仕無易事ニ御座候就中職人之内ニ者上田ェ屋敷居住仕候モノモ御座候是亦無益ノ至ト奉存候間以来右等之不都合無御座候様仕度奉存候ニ付往来筋船場へ便利宜屋敷地ヲ唸味如町家長屋作建仕一戸々ニ壁問ヲ致職人共一ケ所ニ集メ職業仕ラセ候へ者互ニ励合ニ而下手モ上手ニ相成貧村モ富村ト替ル瑞想ニモ押移り候哉ト職商之者共へ相談仕候処一同相歓ヒ一月モ早（ママ）々相調呉候様私共へ厚頼出仕候間普請御免許被為仰付被下候様偏尓奉願上候　以上

明治五年

壬甲

八月十六日

千四百八拾七番屋敷

世良多三郎

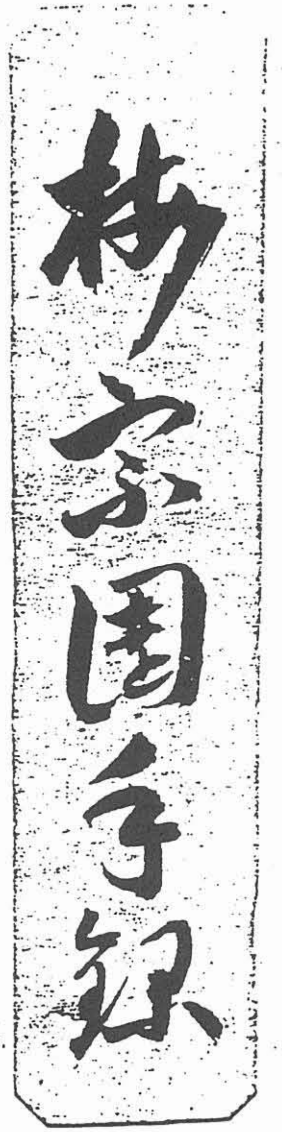
千四百五十四番屋敷

向殿四郎兵衛

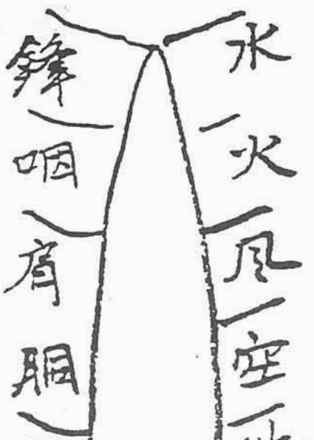
第三大区

御　用　所

（熊野町史生活誌資料編）



楊家園手録



篆隷楷行草ノ五躰毫品用ヒ方掴方ニアリ

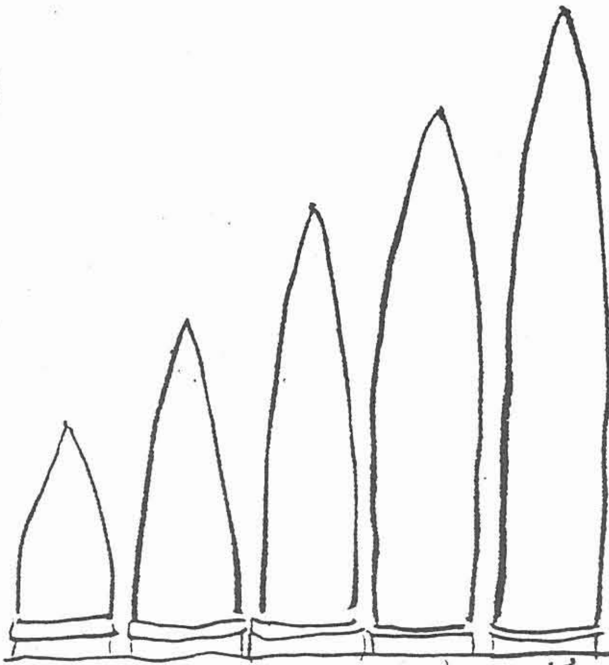
（人王十六代）應神天皇十六年巳二月始テ筆製

同（三十一代）用明帝二年筆墨工之許詞名大縁

同（三十四代）推古天皇十八年五月高麗国曇徴以招五行筆墨紙製方

秦ノ王臣蒙恬太々唐土筆工元祖（明治四年至于）二千三百余年成

筆三寸
六法ノ内
柳葉形



古代鹿ノ巻筆法

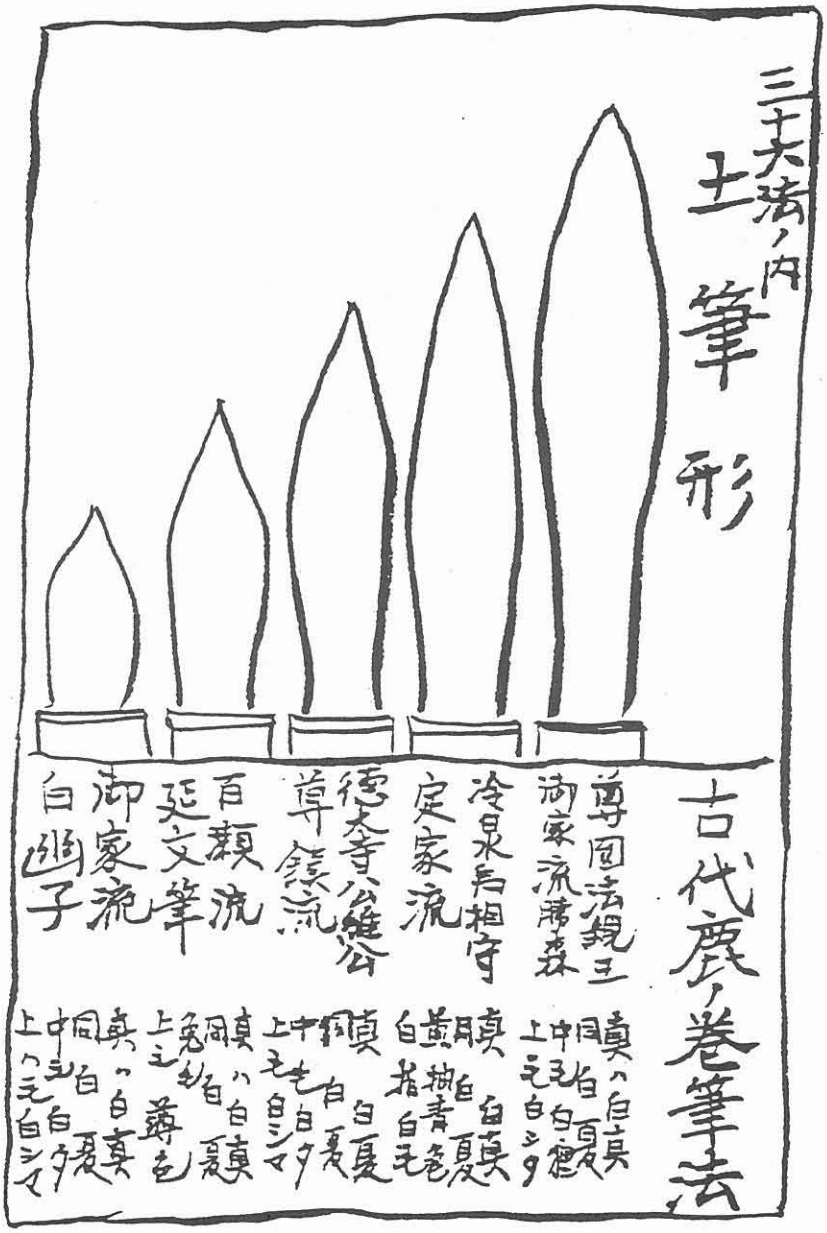
持明院基定卿
世尊寺流
真ノ三真七分
同白夏二分
白狸
上毛皇毛一卜
夏毛

東坊城房長卿
世尊寺流
真ノ白毛七卜
同白毛二卜
上毛夏毛

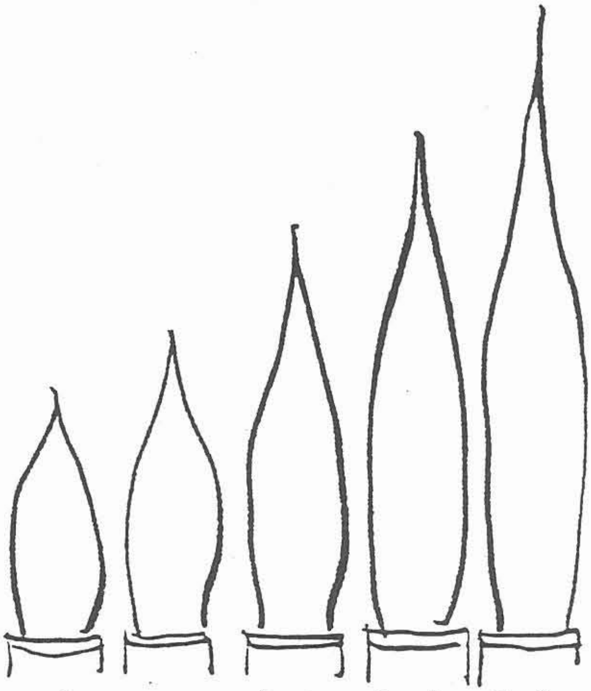
近衛信尹卿
近衛流
真ハ白真七卜
同白夏二卜
中毛白
上毛素シテ屋

今出川季持御
尊朝流
真 白真七卜
同白夏三卜
中毛白
上毛白毛

筒井白雲子
御家流
真 白毛六卜
同白夏四卜
中毛白狸
上毛白ニマ

三十六法ノ内
土筆形
古代鹿ノ巻筆法
尊円法親王
御家流鼻祖
冷泉為相守
定家流
徳大寺ハ維公
尊鎮流
百頼流
延文筆
御家流
白幽子
真ハ白真
同白夏
中毛白[illegible]
上毛白シタ
真白真
同白夏
黄抽青色
白指白毛
真白夏
科白夏
中毛白タ
上毛白シマ
真ハ白真
同白夏
兎毛白
上之薄色
真ハ白真
同白夏
中毛白タ
上ハ毛白シマ

筆形（三十六法内）



古代鹿巻筆法

龍澤流絵図引用

上絵筆木綿書

上絵筆絹書

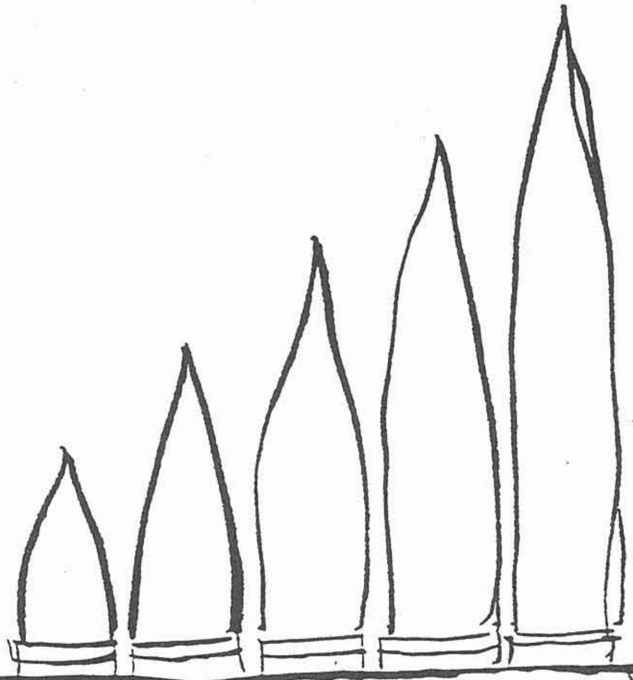
上絵筆紬書

上絵筆毛書

小振七ト
黒ヘ握三ト
上毛熊ヽ毛ト
黒握ニ海ヲ
百対ニ割上毛
又クマ毛握ヲ設
鞠毛赤鞠大寸
黒握百対ニ割
上ヘ毛青ニ掲毛
ヲ設又赤鞠ニ六寸
黒握百対ニ割
上ヘ毛握二考
鞠黄ヽ黒 又六寸
黒ヽ握一枚百対
上毛 青毛
小鞠赤白鞠毛二寸八分

筆三十根 竹形

六法ノ内 全 筌形



古代唐ノ巻筆法

二條ノ蒲養公

勅筆流

真ノ白真七下

同白夏三下

中毛白外

上毛白シマ

後山周暁

定家流

真白真七下

同白夏二下

黒狸一下

上毛青毛

三條西ノ條公

三條流

真ノ白真六下

同鼠王毛巳

白狸一下

上毛夏毛

本阿弥ノ光悦

光悦流

真ノ白真八下

同白夏毛

上毛白毛

溝口子ノ谷

溝口流

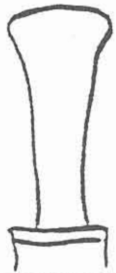
真ノ白夏七下

同白夏二下

白狸王ノ三下

上毛白毛

三



油絵筆　白豕毛

筆三十六法ノ内

関法形

焼石　胡粉焼　生焼

一毛調　二細工　三化粧ヲ知ルナリ
右和漢数多有之及諸学共流小先之強
弱透加減本ハ其仕種ニ在即チ用ル人之任随
意仕様可致者也

第二勧業博覧会出品

筆匠　梅宗園　増井惣助

及

敍（ミガキ）

製筆四海堂十代目増井惣兵衛傳之故如賓
敍ヲ打不業商民書家文人應其書風様毛授
交為製筆故明ノ王文擇自製試用然上諸名家
随筆製号日本東京教師梅宗園増井
惣助學之自他名筆製所不造筆形以其仕
種為其形唯無余念精心一至業也

明治十四年第三月出品

筆匠梅宗園　増井惣助

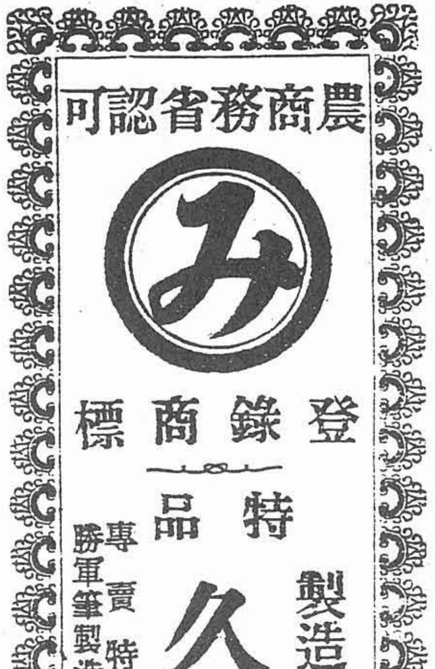
頭

寫

昭和五拾壱年一月

十四夜

雲平



農商務省認可

登錄商標

特品

製造本舖廣島市天神町

久盛堂製筆

（專賣特許）（勝軍筆製造元）宮城久盛堂

（廣島慈恵院印刷）

此筆使用中穗首抜ケ或ハ不完全ノ点有之候節ハ各所販賣店ニ於テ何時タリ𪜈相當代金返却可致候也

營業品目

筆墨一式、硯、石盤、石筆、インキ、ペン先、ペン軸

鉛筆　ノートブック　手帳、字消ゴム　白墨

各色印肉、圖引具一式、定木類　其他文房具一切